

連合研究科共同研究プロジェクト研究成果報告書

プロジェクトの名称	持続可能な社会を構築する学校安全、防災教育・防災管理の実践的研究		
研究期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日	プロジェクト記号	O
チーム構成員の氏名・職名等・所属（配属）大学（◎：チームリーダー）			
◎藤岡達也・教授・上越教育大学（現滋賀大学） （24年4月～25年9月）	◎宮下敏恵・教授・上越教育大学 （25年10月～26年3月）		
◎村田 守・教授・鳴門教育大学（26年4月～）	西岡伸紀・教授・兵庫教育大学		
加藤内蔵進・教授・岡山大学	香西 武・教授・鳴門教育大学（26年4月～）		
五十嵐素子・准教授・上越教育大学（～26年3月）	佐藤 真・教授・兵庫教育大学（～26年3月）		
那須悦代・学生・岡山大学（26年4月～）	澤田一彦・学生・鳴門教育大学（26年4月～）		
前原裕樹・学生・兵庫教育大学（～25年3月）	戸倉則正・学生・上越教育大学（～25年3月）		
高瀬育子・養護教諭・上越教育大学附属中学校	川真田早苗・教諭・徳島県立石井町石井小学校		
小野麻美子・養護教諭・宮城県仙台第一高等学校 （26年12月3日～）	丸山美貴・養護教諭・上越教育大学附属中学校 （～26年3月）		
プロジェクト全体の研究経過及び研究成果			
<p>本プロジェクトはチームリーダーの藤岡上越教育大学教授が、平成25年10月より滋賀大学教育学部教授に転出のため、その後半年を宮下上越教育大学教授がチームリーダーを務め、最後の1年を村田がチームリーダーを務めた。チームリーダーの変更はあったものの、研究経過は順調で、毎年研究成果を成書として出版することができた。藤岡教授の他にも、佐藤兵庫教育大学教授が平成26年4月に関西学院大学教授として転出され、五十嵐上越教育大学准教授も北海学園大学准教授として転出された。転出された教員への予算配分等に問題が残った。一方で、連合博士修了生で、本プロジェクトの協力員であった戸倉則正氏博士（上越）は愛知教育大学准教授に、吉川武憲博士（鳴門）は近畿大学講師に採用される嬉しいニュースがあった。本プロジェクトでの研究成果が、彼らの新たな旅立ちに貢献できたことは、望外の喜びであった。</p> <p>本プロジェクト研究期間内にも、台風・集中豪雨・土石流・地震・火山噴火等の自然災害により多くの命が奪われ、自然災害に対する学校安全・防災教育の実践的研究は喫緊の課題であることの認識を新たにした。しかし、自然災害の対象はあまりに広汎であり、地域特性にも左右される。そこで、本プロジェクトでは、各構成員が各自の専門性・地域性を活かし、「生きる力を育むこと」を基調にし、学校教育活動全体を通した防災教育の在り方を展開した。</p> <p>研究会開催：神戸サテライトをはじめ、各種学会や日本教育大学協会研究集会時に開催した。</p> <p>調査活動：国内のみならず海外での研究授業の開催（台湾国立嘉義大学、内モンゴル民俗大学等）、調査（ポルトガル、エジプト他）を行った。また、海外研究者とも共同研究に努めた。</p> <p>研究成果の公表：構成員、プロジェクト参加連合大学院生、プロジェクト研究員・同協力者により、毎年成書を協同出版より出版した。2013年3月の「生きる力をはぐくむ学校防災」は183頁・15論文、2014年3月の「生きる力を育む学校防災Ⅱ」は211頁・14論文、2015年3月の「生きる力を育む学校防災Ⅲ」は295頁・18論文と年々増加し、研究成果が順調にあがっていることを示している。また、これらの成果を基に普及講演等のアウトリーチ活動にも努めた。</p> <p><成書></p> <p>学校防災プロジェクトチーム（藤岡達也、西岡伸樹、村田 守、加藤蔵之進、佐藤 真、宮下敏恵、五十嵐素子、松井謙太、吉川武憲、宮川高広、戸倉則正、川真田早苗、高瀬育子、丸山美貴、前原裕樹） 編（2013）、生きる力をはぐくむ学校防災。 pp. 186, 協同出版、東京。<ISBN978-4-319-00254-2 C2037></p> <p>学校防災プロジェクトチーム（藤岡達也、宮下敏恵、村田 守、西岡伸樹、加藤蔵之進、佐藤 真、五十嵐素子、松井謙太、吉川武憲、宮川高広、川真田早苗、那須悦代、大泉佐保里、高瀬育子、丸山美貴） 編（2014）、生きる力を育む学校防災Ⅱ。 pp. 211, 協同出版、東京。<ISBN978-4-319-00263-2 C2037></p> <p>学校防災プロジェクトチーム（藤岡達也、宮下敏恵、村田 守、西岡伸樹、加藤蔵之進、佐藤 真、五十嵐素子、松井謙太、吉川武憲、宮川高広、川真田早苗、那須悦代、大泉佐保里、高瀬育子、丸山美貴） 編（2014）、生きる力を育む学校防災Ⅲ。 pp. 295, 協同出版、東京。<ISBN978-4-319-00272-6 C2037></p> <p><提出論文></p> <p>戸倉則正、藤岡達也（2013）、津波に起因する河川災害の取扱いについての一考察。 理科教育学研究, 54, 51-60.</p> <p>藤岡達也、佐藤健（2013）、国際的動向を踏まえた日本の防災教育の現状と課題。 安全教育学研究, 13（2）, 19- 25.</p> <p>西岡伸紀、藤岡達也、松本容史子、丸山美貴（2014）、小・中学校における養護教諭及び保健室の防災に関する役割- 「備え」に関する重要性の意識と実施状況、及びそれらの関連要因- 安全教育学研究14（1）, 3-12.</p> <p>海外関連論文、学会発表及びアウトリーチ活動については大部につき省略する。</p> <p>なお、この成果を基にした科研費が採択され、基盤研究(B)「持続可能な国際社会に貢献する日本型防災教育の構築と展開」（課題番号15H02915）が平成27年度より開始できるのも、本プロジェクトの成果の賜であり、謝意を表する。</p>			

